

## 第4回野口英世アフリカ賞受賞者訪日招へい内閣府主催 歓迎セレモニーの開催

令和5年3月13日(月)、ホテル・ニュー・オータニ鳳凰の間にて第4回野口英世アフリカ賞受賞者訪日招へい内閣府主催歓迎セレモニーが開催された。原内閣府官房長の司会により、松野博一内閣官房長官による開会の挨拶に続き、受賞者スピーチ及び所属機関プレゼンテーションが行われた。

受賞者の功績は次のとおりである。

医学研究分野については、南アフリカ・エイズ研究プログラム・センター (CAPRISA) 所長のサリム・S・アブドゥル・カリム博士と同センター次長のカライシャ・アブドゥル・カリム博士のご夫妻に授与された。授賞理由は、アフリカでの HIV/エイズ感染症対策や新型コロナウイルス感染症対策等への重要な貢献とされた。

医療活動分野については、団体受賞の代表者として、

ギニア虫症撲滅プログラム担当ディレクターのアダム・ウェイス氏と米カーターセンター上級副部長のメーガン・マーツ氏に授与された。授賞理由は、ギニア虫症撲滅プログラムを長年主導してきたカーターセンター主導の下でのアフリカ関係者とのパートナーシップによる国際的なキャンペーンとされた。

4人の受賞者から、それぞれ受賞者スピーチ及び所属機関プレゼンテーションが行われた。

続いて、野口英世アフリカ賞基金に対する功績により、本会の藏内勇夫会長に内閣総理大臣感謝状が贈呈された。

最後に、本賞へのご理解とご支援をいただいた地方獣医師会並びに会員構成獣医師及び関係者の皆様に感謝いたします。



図1 受賞スピーチをするサリム・S・アブドゥル・カリム博士(右)とカライシャ・アブドゥル・カリム博士(左)(南アフリカ共和国)



図3 所属機関プレゼンテーションをするメーガン・マーツ氏(米カーターセンター上級副部長(寄付部門, 日本・アジア担当))



図2 所属機関プレゼンテーションをするアダム・ウェイス氏(ギニア虫症撲滅プログラム担当ディレクター)



図4 内閣総理大臣感謝状を授与された藏内勇夫会長